

第7次総合計画 令和5年度 実施計画

政策1：豊かな心を育む むらづくり

R5.3月  
日吉津村

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	1	誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業	1	人権尊重社会の実現

### 主要事業

#### ◆ 男女共同参画推進事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○男女共同参画の推進は、家庭・職場・地域において男女それぞれが活躍するために必要性が高まっており、実生活のあらゆる場面でその推進が求められている。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○第3次日吉津村男女共同参画計画の策定
3. 本年度事業の内容  
○男女共同参画推進審議会の開催。  
○第3次日吉津村男女共同参画計画の策定。  
○男女共同参画の推進を目指した啓発活動の実施。
4. 前年度の成果・活動実績・課題  
○男女共同参画推進審議会の開催。  
○アンケートの実施。

主要事業に関連する事業の当初予算	120千円	所属課	住民課
------------------	-------	-----	-----

### 主要事業

#### ◆ 人権・同和教育事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○同和問題をはじめとする身近な人権問題の解決に向け、村民一人ひとりが正しい認識と理解を深め、人権が尊重される村づくりを実現する。  
○村民が人権同和教育事業に関わることで、地域の人権意識の向上を図る。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○テーマ:「誰もが学び、人権を大切にする地域づくり」  
○地域、学校教育、福祉と連携し、地域に対しての意識啓発を図るための研修を充実させる。
3. 本年度事業の内容  
○村人権・同和教育推進協議会の運営支援  
・人権・同和教育研究集会の開催(記念講演・実践報告等)  
・チューリップセミナー 年3回程度・小地域懇談会の開催  
○全国人権・同和教育研究大会への派遣
4. 前年度の成果・活動実績・課題  
○村人権・同和教育推進協議会への補助  
・コロナ禍で、小地域懇談会は中止したが、広い会場で実施する人権・同和教育研究集会への参加を呼びかけた。小中学生の人権学習の発表をとおして学びを深める機会とした。チューリップセミナーはヴィンステヒえづと共催で被爆ピアノから平和の尊さを学ぶ講座を実施した。  
○全国人権・同和教育研究大会への派遣  
・全国人権同和教育研究大会は遠隔で参加した。  
○人権感覚を磨くための学びの場の設定  
○あらゆる機会に人権学習ができるよう関係機関と連携を深める

主要事業に関連する事業の当初予算	439千円	所属課	教育委員会
------------------	-------	-----	-------

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	1	誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業	1	人権尊重社会の実現

主要事業

◆ 人権・同和対策事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- 部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくす。
- 差別のない人権尊重・人権擁護の村づくりを進める。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 人権尊重の理念に対する理解を深め、実践できるよう、県内外の多様な研修会、研究集会等に参加し、啓発活動に努める。

3. 本年度事業の内容

- 人権啓発研究集会や部落解放・人権西日本夏期講座等に参加する。
- 米子市人権擁護委員会協議会と連携し相談体制を整える。

4. 前年度の成果・活動実績・課題

- 毎月1回米子市人権擁護委員会協議会と連携し人権相談を実施した。
- 部落解放研究第55回全国集会に参加した。
- 近年は相談受付がない。
- 防災無線により村の相談日を周知するとともに、法務局の電話相談についても周知を始めた。

主要事業に関連する事業の当初予算	302千円	所属課	住民課、総務課
------------------	-------	-----	---------

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	1	誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業	2	生涯学習の推進

### 主要事業

#### ◆ GUTS日吉津っ子育成事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標) ○学校・家庭・地域の連携を図りながら、小学生を対象に地域に根ざした地域学習や様々な体験学習等の機会を適切に提供し、児童の健全育成につなげる。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標) ○GUTS日吉津っ子(がんばる子・ゆったり育つ子・たくましい子)を育むため、様々な交流活動、体験活動を行う。			
3. 本年度事業の内容 ○土曜学習(カルチャー土曜塾)の開催。(小学生1～6年生対象) 定期6回、体験4回程度を予定 漢字検定やタイピング検定のチャレンジなどの学習機会を提供する。 創作活動や釣り、雪遊びなどの自然体験活動を行う。			
4. 前年度の成果・活動実績・課題 ○土曜学習(カルチャー土曜塾)の開催 定期コース:5回実施 (漢字マスター:7人、パソコンマスター:6人、にっぽん大好き:5人、レッツスポーツ:20人、みんなで創作:18人 合計56人) 釣り大会、クルーズ船見学及び釣り体験、日野川探検、漢字検定を実施			
主要事業に関連する事業の当初予算	300千円	所属課	教育委員会

### 主要事業

#### ◆ ヴィレステひえづ拠点事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標) ○村民が、ヴィレステひえづを拠点として、参画と協働する姿を目指します。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標) ○ヴィレステひえづが多種多様な場を提供・支援することで、あらゆる世代の村民が様々な形でヴィレステひえづに集うことを目指します。			
3. 本年度事業の内容 ○中高生自主サークル活動支援事業の継続。 ○村制130周年記念を機に開催した日吉津村音楽祭(第5回)を継続。 ○既存展示パネルに着脱式の音響反射板を取付けてステージ環境を整える。 ○盆踊花火大会 8月に開催。 ○ふれあいフェスタ 11月(文化の部)2日間開催。 ○芸能大会 3月 第2日曜に開催 出演者募集(一般公募含)			
4. 前年度の成果・活動実績・課題 ○中学生サークルが活動を開始し、地域の方と交流ができた。 ○実行委員会に新規メンバーの加入が求められている。 ○メダカ水族館を共催 5月、11月 ○日吉津村花火大会開催 8月16日 ○ふれあいフェスタ 11月5日、6日(文化の部)2日間開催(小学校体育館、ヴィレステひえづ) ○第4回日吉津村音楽祭(12月18日開催)			
主要事業に関連する事業の当初予算	1,483千円	所属課	ヴィレステひえづ

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	1	誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業	2	生涯学習の推進

主要事業

◆ 生涯学習の推進事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

○村民が、ヴィレステひえづを拠点として楽しみながら活動する姿を目指します。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

○ヴィレステひえづが多種多様な場を提供・支援することで、あらゆる世代の村民が、様々な形でヴィレステひえづに集うことを目指します。

3. 本年度事業の内容

- かがやき学級
- 成人学級
- 青年学級
- 新講座
- ちびっこ公民館
- キッチンスタジオ利用促進
- グループ育成支援
- 高齢者向けスマートフォン教室

4. 前年度の成果・活動実績・課題

- かがやき学級(4月～3月開催)
- 成人学級(ウクレレ・陶芸・宇宙の神秘講演会・和菓子)
- 青年学級(チームTシャツ作り)
- 新講座(6講座)
- ちびっこ公民館(和菓子・工作会)
- キッチンスタジオ利用(飾り巻き寿司・ピザ・そば)
- グループ育成(新グループ2)
- 高齢者向けスマートフォン教室(毎月1回)

主要事業に関連する  
事業の当初予算

611千円

所属課

ヴィレステひえづ

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	1	誰もが学び 誇れるむらづくり
基本事業	3	文化・芸術の振興

主要事業

◆ 資料館管理運営事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)
  - 民俗資料館の管理・運営。
    - ①R4.9供用開始のミライトひえづ児童館棟展示・交流室で資料展示。
    - ②R3.5完成の陶芸・倉庫棟で資料収蔵。両方の建物で行う民俗資料の管理・運営に要する費用を一括して計上
  - 本村の歴史や文化、習俗を学び親しむことができる民俗資料を大切に保管し、活用することで子どもから大人までが地域を大切にすることを育む。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)
  - 複合型子育て拠点施設(ミライトひえづ)整備による複合化に伴い、「①児童館・展示スペース棟を利用した地域交流」「②陶芸・倉庫棟を利用した資料収蔵」により、施設利用者が民俗資料に親しむ機会を増やす。
  - 学校教育と連携し、地域の歴史や産業、生活様式の変化など学習単元に沿った資料を活用して実物に触れられる学習機会を提供し、教職員や児童が地域の歴史について理解を深める。
3. 本年度事業の内容
  - 展示・交流室で、年中行事や村の文化財を紹介する展示を企画・実施
  - ふれあいフェスタなど、村内行事に合わせて陶芸・倉庫棟を公開
  - 展示資料の説明文を追加
  - 運営委員先進地(近隣施設)視察研修
4. 前年度の成果・活動実績・課題
  - R4.9～ミライトひえづ開館。展示・交流室の児童館・展示スペース棟へ展示品の移転
  - ふれあいフェスタ(R4.11.6)開催にあわせて、展示・交流室と陶芸・倉庫棟収蔵室に運営委員と職員を配置し、来場者に対して展示解説を実施。
  - 戦争関係の資料、6年生の平和学習をまとめた模造紙を展示した「平和展」を実施。6年生が看板やチラシを作成し、施設利用者を中心に見学を呼びかけた。
  - 綿栽培用具18点が県の有形民俗文化財の指定を受ける運び。(正式には県告示後のR5年4月頃)砂地を利用した産業の先駆けであった綿栽培の貴重な資料が形あるモノとして受け継がれ、地域的な特色を示す点が評価された。
  - コロナ禍のため運営委員視察中止。

主要事業に関連する事業の当初予算	2,224千円	所属課	教育委員会
------------------	---------	-----	-------

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心を育む むらづくり
施策	2	子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業	1	子育て支援の充実

### 主要事業

#### ◆ 利用者支援事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)			
○子育て支援事業等の利用について、情報収集を行うとともに、子どもや保護者からのそれらの利用にあたっての相談に応じ、必要な助言を行い、関係機関等との連絡調整等を実施するために専任の職員を配置する。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)			
○子育て中の保護者や妊産婦が、多様な保育、教育施設等や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるようにするとともに、必要な支援を行う。			
3. 本年度事業の内容			
○子育て支援事業等を利用するために必要な支援を行う母子保健コーディネーターを配置する。			
○子育て事業に関する情報収集を行い、必要に応じて保護者等へ相談や助言等を行う。			
○関係機関との連絡調整を行う。			
4. 前年度の成果・活動実績・課題			
○母子保健コーディネーターによる訪問事業(生後1～3か月の乳児対象)			
○関係機関との連携調整を行い、円滑な事業実施を行った。			
○相談を受ける職員のスキルアップ研修が実施できていない。			
主要事業に関連する事業の当初予算	6,959千円	所属課	福祉保健課

### 主要事業

#### ◆ ミライトひえづ管理運営事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)			
○複合型子育て拠点施設(ミライトひえづ)の管理運営及び、各施設間の連携を図るための事業を実施する。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)			
○ミライトひえづの維持管理及び施設内の各機能の適切な運営により、日吉津村の子育て支援の充実を図る。また各機能と連携した事業を実施する。			
3. 本年度事業の内容			
○ミライトひえづ施設の適正管理…各施設の維持管理を行うとともに事務の効率化を図る。			
○連携事業の実施…読書推進フォーラム(ヴィレステと共催)、新規連携事業を実施する。			
○日吉津保育所の認定こども園への移行。併せて職員研修や、小規模保育園との連携を図る。			
4. 前年度の成果・活動実績・課題			
○令和4年9月にミライトひえづを開館し、引き続き第2期工事の進捗管理を行った。			
○ミライトひえづ総括室を設置し、ミライトひえづ全体での運営体制構築を図った。			
主要事業に関連する事業の当初予算	16,788千円	所属課	福祉保健課

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心を育む むらづくり
施策	2	子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業	1	子育て支援の充実

### 主要事業

#### ◆ すまいる子育て応援ギフト事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)			
○核家族化が進み、地域のつながりも希薄となる中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備を行う。			
○妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)			
○相談実施機関へのアクセスがしやすくなる。			
○産後ケアや一時預かり・家事支援などの利用者負担が軽減され、必要なサービスにつながりやすくなる。			
○必要な支援が確実に妊婦・子育て家庭に届く。			
3. 本年度事業の内容			
○「伴走型相談支援」と「出産・子育て応援ギフト」を組み合わせた形で、全ての妊婦・子育て家庭のニーズに即した効果的な支援を行う。			
○「伴走型相談支援」は、妊娠届出時、妊娠8か月前後、出生届から乳幼児家庭全戸訪問までの間の面談実施。面談を通じて、出産・育児等の見通しを立てる。			
○「出産・子育て応援ギフト」は、妊娠届出時の面談実施後と、出生届から乳幼児家庭全戸訪問までの間の面談実施後の計2回、5万円ずつの現金給付を行う。			
4. 前年度の成果・活動実績・課題			
主要事業に関連する事業の当初予算	7,263千円	所属課	福祉保健課

### 主要事業

#### ◆ 保育所運営事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)			
○保育を通して子どもの状況や発達過程を踏まえ家庭と連携して、乳幼児の健全な発達を図る。			
○保育所の専門性を活かし、乳幼児期に必要な物的環境や人的環境を整えることで各年齢にあった保育、また、一人ひとりの育ちを大切に保育を行う。			
○小学校に向けて関係機関との連携を深め、保護者が安心して子育てや就学できる保育を提供する。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)			
○保育の充実を図り、子どもの成長発達を保障する。			
○ニーズに応じた保育(障がい児保育、発達障がい者支援センターとの研修等)を行う。			
○複合型子育て拠点施設「ミライトひえづ」のスムーズな運営に努める。			
3. 本年度事業の内容			
○コロナ禍での保育所行事のやり方の工夫、保護者の参加の仕方の工夫をする。			
○家庭と連携をして、保護者が安心して子育てができる環境を整える。			
○「認定こども園」となり、複合型の機能が発揮できるよう保護者と共通認識を行い、スムーズな運営に努める。			
4. 前年度の成果・活動実績・課題			
○保育の専門性を活かし、一人ひとりの育ちを大切に保育を行った。			
○コロナ禍の中で親子遠足、秋まつり、クラス懇談会、運動会等の行事を行うことができた。保護者の方にも協力を頂きながら参加され、子どもの成長を実感された。			
主要事業に関連する事業の当初予算	101,082千円	所属課	こども園

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	2	子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業	2	学校教育の充実

### 主要事業

#### ◆ スクールソーシャルワーカー活用事業

##### 1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて児童生徒が置かれた様々な環境へ働きかけたり、関係機関等とのネットワークを活用することなどにより問題を抱える児童生徒とその家庭への支援策を学校とともに構築するスクールソーシャルワーカー(SSW)を配置し、教育相談体制を整備する。
- 多様化する児童、保護者等の課題に対し、学校内チーム体制の構築、支援が必要。

##### 2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 学校現場の児童理解と適切な支援の在り方に関して、福祉の手法を導入することで、学校現場を支援しつつ、児童個々の状況に応じた適切な対応を組織的、計画的に実施することができる。

##### 3. 本年度事業の内容

- 生活及び学習に困難さがある児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- 関係機関とのネットワークの構築、連携・調整
- 学校内におけるチーム体制の構築、支援
- 保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供
- 教職員等への研修活動
- スクリーニングシートの活用による支援の必要な児童の早期発見及び支援

##### 4. 前年度の成果・活動実績・課題

- 18回のケース会議を実施し、児童や家庭の課題の共通理解と、関係機関を含めた組織対応を行い、不登校傾向児童の生活が改善されつつある。
- 関係機関との連絡調整を行い、連携を図りながら対応方法の検討を進めることができた。
- 中学校にも対応を拡大し、切れ目のない支援ができるよう、活動を推進した。
- 支援の必要な児童の早期発見のためにスクリーニングシートを開発し、スクリーニング会議の計画を立てた。
- 多様化する児童、生徒及び保護者のニーズへの対応。

主要事業に関連する  
事業の当初予算

2,486千円

所属課

教育委員会

### 主要事業

#### ◆ 教育支援センター運営事業

##### 1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- 不登校児童の対応のため、ふれあい生活館内に居場所(教育支援センター)を設置。
- 教育課程に基づいた学習を進めるために、教員免許を所有した職員を配置。
- 精神面のケアが必要となるため、看護師を配置。

##### 2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 不登校児童や、朝家を出ることができても学校や教室に入れない児童の居場所づくり。

##### 3. 本年度事業の内容

- 不登校児童の居場所を提供し、学習支援や相談等によって生活リズムを取り戻させ、社会的自立に向けた支援を行う。
- 児童が集団で学習するのが困難な時に、落ち着いて個別で学習する。

##### 4. 前年度の成果・活動実績・課題

- センター支援員が児童及び家庭と信頼関係を築き、それにより時間どおり登校できない児童も頑張って登校する姿が見られる。
- 様々な事情で登校できない一部の児童にとっては、校内の教育支援センターに向かうことが困難であり、居場所づくりの充実が必要。
- 家庭への周知と支援。
- スクールソーシャルワーカーとの連携による機能性の向上。

主要事業に関連する  
事業の当初予算

8,276千円

所属課

教育委員会

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	1	豊かな心をはぐくむ むらづくり
施策	2	子どもが生き生き育つ むらづくり
基本事業	2	学校教育の充実

### 主要事業

#### ◆ 30人学級体制整備事業

##### 1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- 30人学級実施のため加配教員を配置し、学習活動への適応を図るため、低学年を中心に学習支援員を配置する。(H30年度から実施)
- 国の年次計画:令和4年度から5年間かけて小学校全学年を35人学級へ
- 県の年次計画:国の法改正に伴い、令和4年度から5年間かけて小学校全学年を30人学級へ

##### 2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 児童一人ひとりの個性に応じたきめ細やかな指導をより一層充実し、児童の学校生活への円滑な適応、良好な人間関係の構築、生活習慣の確立等に取り組み、学力のさらなる定着・向上を目指し、子どもたちの能力が最大限発揮できるようにする。

##### 3. 本年度事業の内容

- 国の学級編制基準では、小学校の学級数は、4. 5年生が1学級で、他の学年が2学級、特別支援学級が3学級の合計13学級。
- 県の協力も得て、村の学級編制基準による少人数学級(各学年2学級)を実施した。
- さらに基礎基本の確実な定着を図るために、学習支援員3人を小学校に配置した。個に対応したきめ細やかな教育活動を推進するための体制を整備する。

##### 4. 前年度の成果・活動実績・課題

- 国の学級編制基準では、小学校の学級数は、3. 4. 6年生が1学級で、他の学年が2学級、特別支援学級が3学級の合計12学級。
- 県の協力も得て、村の学級編制基準による少人数学級(各学年2学級)を実施した。
- 学習支援員3人を小学校に配置し、個別指導により児童の基礎基本の確実な定着に寄与した。

主要事業に関連する  
事業の当初予算

19,442千円

所属課

教育委員会

### 主要事業

#### ◆ コミュニティ・スクール事業

##### 1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- 保護者・地域住民・各種団体が協働・連携した地域コミュニティを創造する。
- ふるさと日吉津村を大切にす心を持った子どもを育成する。
- 地域の住民及び保護者等と学校相互の理解を深め、信頼される学校を構築する。

##### 2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 「地域でどのような子どもを育てるのか」議論し、目標を共有する。
- 学校と地域住民・保護者等が力を合わせて学校教育活動の充実を図る。

##### 3. 本年度事業の内容

- 日吉津小学校運営協議会において、学校運営や必要な支援に関する協議を行う。
- 学校と保護者・地域住民・各種団体等が相互にパートナーとして連携・協働して活動する。

##### 4. 前年度の成果・活動実績・課題

- 日吉津小学校運営協議会を5回開催
- 日吉津村熟議
- 「コミ・スクだより」を作成し、保護者に配布する。
- 学校運営協議会の様子をホームページに掲載し、情報提供を行う。
- 地域学校協働活動(いも苗植え、いもほり、大豆の種まき・収穫、田植え体験、稲刈り体験等)をひえぶチャンネルで放映し、情報提供を行う。
- <児童との交流事業:1年生と昔遊び交流は、新型コロナウイルス感染等のため中止>

主要事業に関連する  
事業の当初予算

2,397千円

所属課

教育委員会

第7次総合計画 令和5年度 実施計画

政策2： 自然と調和する 住みよいむらづくり

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	1	暮らしやすい むらづくり
基本事業	1	快適な生活環境の整備

主要事業

◆ 道路維持

- 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○基礎的な社会資本である道路施設の改良補修等を計画的に行うことにより、道路交通の円滑化や安全性の確保を図る。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、橋梁の定期点検(繰越)や補修等を行うとともに、陥没箇所等の修繕など、道路施設の適正な維持管理を行う。
- 本年度事業の内容  
○村道4号線西川橋4補修工事  
○村道温泉線舗装補修工事  
○交通安全施設設置及び舗装修繕工事  
○村道植栽等維持管理業務委託  
○陥没等修繕ほか
- 前年度の成果・活動実績・課題  
○計画に基づく橋梁定期点検の結果による補修調査設計及び路面舗装の補修を実施  
○植栽等の維持管理、陥没等の修繕など、適正な維持管理を実施  
○道路施設の維持補修には、相当の費用を要するため、橋梁長寿命化修繕計画等の見直しを行いながら、費用の平準化を図る必要がある。

主要事業に関連する事業の当初予算	35,553千円	所属課	建設産業課
------------------	----------	-----	-------

主要事業

◆ 下水道事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○公営企業会計による経営基盤の強化とサービスの安定的な提供を行うことにより、地域の水質保全と生活環境の向上を図る。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○下水道施設の安定的、効率的な維持管理を行う。
- 本年度事業の内容  
○下水処理場の適正な維持管理業務の実施  
○移動脱水車の更新  
○下水処理場の耐水化計画を策定  
○下水道使用料金の賦課徴収業務を実施
- 前年度の成果・活動実績・課題  
○下水処理場の一部の機器修繕工事の実施  
○下水道使用料金の賦課徴収業務の実施

主要事業に関連する事業の当初予算	下水道事業費用(144,116千円) 資本的支出(213,265千円)	所属課	建設産業課
------------------	--	-----	-------

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	1	暮らしやすい むらづくり
基本事業	1	快適な生活環境の整備

主要事業

◆ 海浜運動公園魅力向上事業

<p>1. 事業の目的(事業期間の最終目標)                  ○海浜運動公園の維持管理やサービスの向上による利用促進を図り、海浜エリア一帯への誘客を促進することで、新型コロナで停滞する地域の事業者への経済効果、交流の促進による地域の活性化を図る。</p>			
<p>2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)                  ○海浜運動公園の魅力化に向けて、官民連携手法の可能性、民間企業の参入意向等のサウンディング調査を実施し、今後整備するキャンプ場の条件等について検討する。</p>			
<p>3. 本年度事業の内容                  ○官民連携手法の可能性調査                  ○サウンディング調査</p>			
<p>4. 前年度の成果・活動実績・課題                  ○海浜エリア活性化検討委員会、庁内プロジェクトチーム、村民の皆様から活性化についての御意見をいただき検討を進めた。                  ○令和5年3月末に活性化計画としてまとめた。</p>			
主要事業に関連する事業の当初予算	2,200千円	所属課	総合政策課

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	1	暮らしやすい むらづくり
基本事業	2	時代に即した快適で便利な環境整備

### 主要事業

#### ◆ 情報システム等整備事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術や AI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げる。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○自治体DX及びSociety5.0の推進に向けた情報収集  
○行政手続のオンライン化に向けた手続きの精査  
○RPA、AI等の導入検討
- 本年度事業の内容  
○自治体の情報システムの標準化・共通化  
○自治体の行政手続のオンライン化  
○既存システムの保守管理  
○業務用パソコンの年次的な更新  
○鳥取県ICT協議会における導入システム等の検討  
○DXアドバイザー配置
- 前年度の成果・活動実績・課題  
○課題の共有化→自治体DX推進プロジェクト会議を開催し意見交換を実施。  
○業務効率化→共有フォルダのルール作り、AI・RPA製品の情報収集や研究を実施。  
○基幹系17業務システムの標準仕様化に向け、各課の業務フローの見直しが必要。  
○マイナポータルからマイナンバーカードを用いてオンライン手続を可能にすることが求められている。  
○DXアドバイザー配置に向けた検討。

主要事業に関連する事業の当初予算	26,161千円	所属課	総合政策課
------------------	----------	-----	-------

### 主要事業

#### ◆ 情報通信ネットワーク整備事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○自治体情報セキュリティクラウドの活用及び庁舎内ネットワーク(日吉津村行政イントラネット)の維持・管理を行い、情報セキュリティの強靭化を図り、セキュリティ対策を講じる。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○「自治体の三層の対策」の維持(LGWAN接続系、インターネット接続系、マイナンバー利用事務系を分離し、セキュリティ対策を強化)
- 本年度事業の内容  
○国のガイドライン等に基づき、情報セキュリティ対策を実施し、庁舎内ネットワークの情報セキュリティ対策の強靭化を行う。
- 前年度の成果・活動実績・課題  
○国のガイドラインに基づき、庁舎内ネットワークの見直しを行い、セキュリティ対策の機能強化を実施。  
○鳥取県第2期セキュリティクラウドのサービスに係る仕様検討及び構築を実施。  
○情報セキュリティ等に関する内部監査を実施。  
○令和7年度までに「Gov-Cloud」へのネットワークの移行が必要。仕様書が開示され次第、庁舎内のネットワークの構築に向け準備を行う。

主要事業に関連する事業の当初予算	14,890千円	所属課	総合政策課
------------------	----------	-----	-------

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	1	暮らしやすい むらづくり
基本事業	3	環境にやさしい暮らしの推進

### 主要事業

#### ◆ し尿・ごみ減量化・不法投棄ごみ対策事業

##### 1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- 村民が衛生的で安全に暮らすことのできる地域づくりを行う。
- ごみの減量化とリサイクルを推進することで、地球に優しく美しい村を目指す。

##### 2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 川ざらいの汚泥置場を確保、不法投棄の防止対策やポイ捨て等禁止条例の周知・啓発を継続して行う。
- 電気式生ごみ処理機及びコンポストの導入助成を行う。
- ごみ問題を考える検討委員会を開催し、ごみの減量化に向けた対策を練る。

##### 3. 本年度事業の内容

- 可燃ごみの減量化に繋がる電気式生ゴミ処理機とコンポストの導入促進を継続する。
- 不燃ごみの減量化に繋がる小型家電リサイクル回収を継続する。
- 不法投棄防止のための必要な対策を実施する。

##### 4. 前年度の成果・活動実績・課題

- 電気式生ごみ処理機の導入助成件数:2件 コンポスト導入助成件数:1件
- 資源ごみ(青色袋)の分別についてふれあいフェスタで展示を行った。
- 資源ごみ(プラスチック類、加・ビソなど)が、可燃ごみ・不燃ごみとして排出されるケースが見受けられる。

主要事業に関連する  
事業の当初予算

1,025千円

所属課

住民課

### 主要事業

#### ◆ 住宅カーボンニュートラル推進支援事業

##### 1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

- 脱炭素社会の構築のために、再生可能エネルギーを活用した地域づくりを行う。

##### 2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 地球温暖化防止対策におけるCO2の削減と省エネルギー社会実現のため、住宅用太陽光発電システムなどの導入を進める。

##### 3. 本年度事業の内容

- 住宅用太陽光発電システムと家庭用燃料電池の設置に対して補助金を交付する。
  - <住宅用太陽光発電システム>  
補助件数:7件 補助金額:36,000円/kW(上限180,000円)
  - <蓄電池>  
補助件数:7件 補助金額:70,000円/kWまたは導入経費の1/3のいずれか低い額(上限400,000円)
  - <太陽熱温水器>(単独)  
補助件数:3件 補助金額:1台あたり20,000円

##### 4. 前年度の成果・活動実績・課題

- <補助実績>
  - 太陽光発電 :6件(補助金額:1,050千円)
  - 蓄電池(R4新規):7件(補助金額:2,630千円)
  - ・令和3年度:太陽光7件 ・令和2年度:太陽光3件
  - ・令和元年度:太陽光7件 ・平成30年度:太陽光8件

主要事業に関連する  
事業の当初予算

4,120千円

所属課

住民課

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	1	暮らしやすい むらづくり
基本事業	3	環境にやさしい暮らしの推進

主要事業

◆ 公害対策事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

○王子製紙(株)米子工場とイオンリテール(株)との環境保全協定書に基づき、定期的な測定及び立入検査を実施することで、村民の健康及び快適な生活環境を確保する。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

○定期的な測定及び立入検査を実施することで、王子製紙(株)米子工場とイオンリテール(株)が環境保全協定書に基づく適正な操業・営業を行っていることを確認する。

3. 本年度事業の内容

○王子製紙(株)米子工場とイオンリテール(株)において、環境保全協定書に基づく測定を行う。

○感覚的、視覚的な異常を発見した場合は、各企業に連絡し、原因究明と対応を求める。

<委託料内訳>

悪臭検査、悪臭等緊急検査、ばい煙測定(煙道測定)、硫酸酸化物検査、騒音検査、イオン浄化槽放流水検査

※次の検査は、米子市と共同実施へ切替(負担金)

・工場排水検査委託料(年6回偶数月)

・排水臭気検査委託料(年2回:8月,2月)

4. 前年度の成果・活動実績・課題

○王子製紙(株)米子工場とイオンリテール(株)において、環境保全協定書に基づく検査項目の測定を行った。

主要事業に関連する  
事業の当初予算

5,809千円

所属課

住民課

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	2	安心安全な むらづくり
基本事業	1	安心安全なむらづくりの推進

### 主要事業

#### ◆ 災害対策事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)
  - 多様化・激甚化している災害に対応するため、各種計画の見直し等を行うとともに、災害備蓄品や資機材を整備し、災害に備える体制を整備することによって、災害に強い村づくりを推進する。
  - 村防災士連絡協議会を主体に、自主防災組織の活動を支援し、地域の防災力の向上を図る。
  - 防災情報等について、伝達手段の多重化を図る。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)
  - 防災無線放送を受信可能なアプリを導入、また、親局及び戸別受信機等の更新を行うことにより、より確実な情報伝達を図る。
  - 昭和56年5月31日以前に建築された建築物の耐震化を図るため住宅耐震化診断、耐震設計耐震改修及び危険ブロック塀の耐震対策を行い、災害への対策を行う。
  - 近年の災害時必要備品等の変化等を参考に見直しを図り、QOLを保てるよう、備蓄費の予備資機材の調達を行い、装備を充実させる。
  - 村防災訓練を実施し、防災力の向上を図る。
- 本年度事業の内容
  - 防災行政無線放送の伝達方法の多重化を図るため、アプリの導入及び親局・戸別受信機等の更新を行う。
  - 戸建住宅の耐震診断、危険ブロック塀の撤去・改修に対して補助を行う。
  - 連携備蓄品及び資機材の充実及び整備を実施。
  - 地域防災計画の見直し。
  - 国民保護法の改正等による国県の国民保護計画変更がある場合に、村の計画修正を行う。
  - 大雨(浸水害)を想定した村防災訓練を実施。
- 前年度の成果・活動実績・課題
  - 福祉避難所の設置・運営に係る訓練及び全職員参加の防災訓練を実施。
  - 備蓄品の期限が到達するものが集中しており、次回の備蓄品の調達及び調達内容の見直しが必要になっている。

主要事業に関連する事業の当初予算	250,571千円	所属課	総務課
------------------	-----------	-----	-----

### 主要事業

#### ◆ 交通安全活動推進事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)
  - 交通事故のない、安心・安全な村を目指す。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)
  - 村内の交通事故防止を図る。
- 本年度事業の内容
  - 年4回(春、夏、秋、年末)の交通安全運動期間中に、のぼり旗の設置や街頭広報等を行う。
  - 毎月1日、15日(学校の長期休業中除く、土日祝日の場合は翌日)の登校時に村の主要交差点において、交通安全指導員が児童等に街頭指導を行う。
- 前年度の成果・活動実績・課題
  - 年4回の交通安全運動期間中に、のぼり旗の設置及び街頭広報、交通安全教室等を実施。
  - 毎月1日、15日に村の主要交差点において街頭指導を実施。

主要事業に関連する事業の当初予算	728千円	所属課	住民課
------------------	-------	-----	-----

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	2	自然と調和する 住みよいむらづくり
施策	2	安心安全な むらづくり
基本事業	1	安心安全なむらづくりの推進

主要事業

◆ 防犯対策事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)

○防犯環境の整備を進めることによって、犯罪のない村づくりを図る。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)

- 防犯灯の維持管理を行う。
- 他自治体や警察等との連携を図る。
- 青少年を非行から守り、健全な生活環境の保全を図る。

3. 本年度事業の内容

- 他自治体、警察等と情報共有を図ることで、犯罪を未然に防ぐ体制を築く。
- 蛍光灯を順次LED防犯灯へ交換することで照度改善を図る。
- 球切れ、点滅等の不備がある防犯灯の修繕を迅速に行い、安全な住環境を維持する。

4. 前年度の成果・活動実績・課題

- 県の補助金を活用し、村内の蛍光灯をLED防犯灯に更新。
- 日射量が低下する曇りや雨の日に、日中から点灯してしまう防犯灯への対応。

主要事業に関連する事業の当初予算	1,588千円	所属課	住民課
------------------	---------	-----	-----

第7次総合計画 令和5年度 実施計画

政策3：健康でともに支え合う 活力あるむらづくり

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	1	元気に暮らす むらづくり
基本事業	1	健康づくりの推進

主要事業

◆ 健康増進事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)
  - 「健康増進法」に基づき、村民の健康保持と適切な医療の確保を図るため、健康増進事業を行う。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)
  - 各種検診や保健指導、健康教室等を実施することにより、疾病予防、疾病の早期発見、早期治療につながり、ひいては医療費の削減につながる。
3. 本年度事業の内容
  - 検診等の実施とあわせて、検診の受診率の向上のための各種取り組みを行う。
    - ①特定健診(40歳以上の国保加入者)・健康診査(75歳以上の後期高齢者医療加入者・40歳未満の社会保険加入者)4回/年
    - ②訪問指導(随時)
    - ③健康手帳配布(随時)
    - ④健康教育(生活習慣病予防4回)
    - ⑤健康相談(10月～随時)
    - ⑥胃がん検診(40歳以上・7回/年、R3から個別検診、ピロリ菌検査実施)
    - ⑦肺・結核がん検診(40歳以上、8回/年)
    - ⑧大腸がん検診(40歳以上、8回/年)
    - ⑨子宮がん検診(20歳以上、集団4回/年、及び医療機関委託)
    - ⑩乳がん検診(40歳以上の偶数年生まれの女性、集団4回/年、及び医療機関委託)
    - ⑪骨粗鬆症検診(40歳から70歳までの5歳刻みの女性、1回/年)
    - ⑫前立腺がん検診(50歳以上)・肝炎ウイルス検査(40歳以上の未受診者、6回/年)
    - ⑬後期高齢者人間ドック(後期高齢者医療保険被保険者で希望者、医療機関委託)
    - ⑭まちの保健室(健康教室・保健指導等、7回/年)
    - ⑮歯周疾患検診(40歳、50歳、60歳、70歳に費用助成)
    - ⑯30歳代の乳がん検診費用助成
4. 前年度の成果・活動実績・課題
  - 新型コロナウイルス感染予防のため、集団健診を完全予約制にて実施。
  - 個別の胃がん検診実施医療機関の増加。
  - 健康診査(75歳以上)の受診者が増加。
  - 各種検診等を実施することで、村民の健康保持と適切な医療の確保が図られる。

主要事業に関連する事業の当初予算	11,096千円	所属課	福祉保健課
------------------	----------	-----	-------

## 第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	1	元気に暮らす むらづくり
基本事業	1	健康づくりの推進

### 主要事業

#### ◆ 健康寿命延伸事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)
  - 「第2期データヘルス計画」に基づき、村民の健康状態に即した効果的な保健事業に取り組み、健康寿命の延伸を目指す。心身ともに健康で活動的な健康寿命の延伸を目指すことは元気な村づくりを支える人づくりにつながり、ひいては医療費の削減につながる。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)
  - 村民の健康な生活習慣の獲得を促し、特定健診(日吉津村国保)結果のメタボリックシンドローム予備群の発生を抑制する。
  - 特定健診、各種がん検診の受診率向上を図る。  
※各種検診等を実施することで、村民の健康保持と適切な医療の確保に努めることができる。  
(健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法、介護保険法)
- 本年度事業の内容
  - 健康意識向上事業:健康づくり・介護予防の普及啓発、生活習慣病予防教室(小学校出前講座)、まちの保健室(年4回/ウイルステひえづ)、健口寿命延伸事業(特定健診時歯科保健指導)、健康ポイント事業、食・運動に関する普及啓発、高齢者フレイル対策等
  - 特定健診・がん検診受診率向上事業:健診(検診)受診に関する普及啓発、健康ファイルの配布、特定健診・がん検診未受診者への受診勧奨等
  - 健診受診後コントロール事業:非肥満の高血糖者対策(ヘルスアップ相談会)等
- 前年度の成果・活動実績・課題
  - 健康づくり普及啓発:ウイルステひえづでポスター掲示等の普及啓発、村の事業やイベントに合わせて健康講話や各種健康づくり測定会を実施した。
  - 小学校出前講座:6年生を対象に塩分摂取と健康をテーマにした教室を実施した。
  - まちの保健室:ウイルステひえづを会場に高齢者学級と連携して開催した。今後も定期的に開催していくことが必要。
  - 健口寿命延伸事業:特定健診時に歯科保健指導を実施。
  - 健康ポイント事業:R4年度健康ポイント達成者64名(R4.10月末時点)。今後事業の評価を行い、対象事業の拡大等事業内容を検討することが必要。
  - 高齢者フレイル対策:村事業等でフレイルチェックを実施し、結果に基づいて情報提供等を行った。
  - 新40歳を対象(53名)に健康ファイルを配布した。

主要事業に関連する事業の当初予算	1,144千円	所属課	福祉保健課
------------------	---------	-----	-------

### 主要事業

#### ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

- 事業の目的(事業期間の最終目標)
  - 国指示の下、新型コロナウイルスワクチン追加接種を、令和3年度より継続して村民に個別接種・集団接種を実施する。
  - 村民の新型コロナウイルス感染のリスクを下げ、感染を防ぐ速やかな対応等円滑な実施に向けて事業を進める。
- 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)
  - 改正予防接種法第6条3項の指示とみなし特例臨時接種として継続する。
  - 村民の新型コロナウイルス感染のリスクを下げ、感染者の発生を防ぎ、村民の健康を守る。
- 本年度事業の内容
  - 2回目のワクチン接種を終了後3カ月経過した12歳以上の方のオミクロン株による追加接種を、集団接種と村内1医療機関による個別接種にて実施
  - 6ヶ月～11歳の西部圏域での広域接種体制の継続
- 前年度の成果・活動実績・課題
  - 本村では、令和3年4月より高齢者の接種から開始。4回目の接種率【60歳以上】は約83.3%(令和4年12月時点)。  
※4回目接種対象者:60歳以上。18歳～59歳で基礎疾患のある者・医療、介護従事者。3回目の接種率【12歳～59歳】は約72.6%(令和4年12月時点)  
【5歳～11歳】2回目接種率は約15.6%(令和4年12月時点)

主要事業に関連する事業の当初予算	2,419千円	所属課	福祉保健課
------------------	---------	-----	-------

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	1	元気に暮らす むらづくり
基本事業	2	ともに支え合う福祉の充実

主要事業

◆ 介護予防・地域生活支援事業

<p>1. 事業の目的(事業期間の最終目標)</p> <p>○高齢者が要支援・要介護状態となることを予防し、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、様々な生活支援サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化を推進する。</p>			
<p>2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)</p> <p>①多様な生活支援サービスの提供体制を確保するため、多機関が連携して協議する「協議体」を設置し、生活支援コーディネーターを継続して配置する。                  ②介護予防事業を委託実施し、高齢者の健康維持を図る。                  ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業の取組を推進する。</p>			
<p>3. 本年度事業の内容</p> <p>①生活支援コーディネーターの配置(1名)                  ②一般介護予防教室の開催(転倒骨折予防教室、認知症予防教室等)                  ③筋力向上トレーニング教室の開催</p>			
<p>4. 前年度の成果・活動実績・課題</p> <p>①生活支援コーディネーターの配置(1名)                  ②各種一般介護予防教室の実施(事業委託:村社協)                  ③筋力向上トレーニング教室の実施(事業委託:村社協)</p>			
主要事業に関連する事業の当初予算	28,722千円	所属課	福祉保健課

主要事業

◆ 包括的支援体制整備事業(重層的支援体制整備事業)

<p>1. 事業の目的(事業期間の最終目標)</p> <p>○社会福祉法第106条の4に基づき、対象者の属性を問わない相談支援、多様な参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施することにより、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備する重層的支援体制整備事業への円滑な移行を推進する。</p>			
<p>2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)</p> <p>○ずっと住みたいむらを目指し「重層的支援体制整備事業」への移行準備事業を行う。                  ○高齢・障がい・子ども・生活困窮等の各福祉分野の機関が連携して支援する体制を整理し、再構築することにより、課題を抱える人に寄り添った長期的・継続的な支援を行う。</p>			
<p>3. 本年度事業の内容</p> <p>①庁内連携体制の構築等の取組                  ②多機関協働の取組                  相談支援に関わる関係者の連携の円滑化を図るため、既存の相談支援機関をサポートし、包括的な支援体制を整備する。                  ③アウトリーチ等を通じた継続的支援事業                  複雑化・複合化した支援ニーズを抱えながらも必要な支援が届いていない人や、支援につながることに拒否的な人に必要な支援を届けるため、アウトリーチを通じた継続的な支援事業を実施する。</p>			
<p>4. 前年度の成果・活動実績・課題</p>			
主要事業に関連する事業の当初予算	12,132千円	所属課	福祉保健課

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	2	活力ある むらづくり
基本事業	1	持続可能な農業と商工観光の振興

主要事業

◆ がんばる地域プラン事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○県の補助事業である「がんばる地域プラン」を活用し、農業基盤の強化や農業生産性の向上、多様な担い手の確保を図る。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○具体的な取組を「がんばる地域プラン」に盛り込み、集中的に実施していく。
3. 本年度事業の内容  
○「がんばる地域プラン」に掲げる次の取り組みを実施していく。  
  - ・農業将来ビジョン推進本部会議
  - ・農業よろず相談事業
  - ・多様な人材の掘り起し、明確化事業
  - ・農作業お助け隊事業
  - ・踏んばる農家プラン事業
  - ・広報の充実事業
  - ・収量向上事業
  - ・環境農業維持支払交付金事業
  - ・村の宝づくり事業
 ほか
4. 前年度の成果・活動実績・課題
  - ①日吉津村農業将来ビジョン推進本部の設置  
4月に推進本部会議を発足。推進本部会議を5回開催し、各事業の報告・検討実施。未来会議を1回(通算8回)開催。
  - ②農業よろず相談窓口の設置  
7月より相談受付を開始し、8月から相談会を開催し、6件の相談を受けた。
  - ③-Aアグリマイスターの認定  
優れた技術を持つ農業者をアグリマイスターと認定する。4月28日に任命式を開催。11月29日に研修会開催。
  - ③-B村認定耕作者の認定  
村農業において中心的な役割を担う農業者を認定。4月28日に任命式を開催。追加募集し11月29日に研修会と合わせ追加の任命式を開催。
  - ④農作業お助け隊の設置と運営  
8月よりお助け隊員募集。10月よりお助け希望者募集開始。12月にお助け隊員追加募集。
  - ⑥-B日吉津村版「がんばる農家プラン補助事業」  
機械導入を計画している村認定耕作者が、3年間の営農計画を立て、補助申請し支援を行う。事業名を「踏んばる農家プラン」へ変更。  
認定耕作者連絡協議会設置。会則作成。
  - ⑦広報の充実  
日頃の農作業等の撮影を実施、並行して広報編集委員会を設置し、PR動画として村内外へのPRを図る。5月より農作業の撮影を実施。12月2日に広報番組編集会議開催。
  - ⑧収量向上事業  
大豆の防除等必要な措置を適期に実施するため、病害虫の発生予察の強化を図る。7月～10月フェロモントラップ設置し、捕獲数調査を実施。大豆研究会の会員へSMSで13回報告した。
  - ⑨環境農業維持支払交付金  
農振白地農地の荒廃化の防止を図り、環境維持を図るため、条件不利地の耕作者に対し支援を行う。説明会を開催し、申請者に対し交付金を支払う。
  - ⑩村の宝づくり事業  
サツマイモとイチジクを特産物となり得る品目として指定し、栽培技術、商品化、販路等一連の流れができるよう検討。10月に宝づくり準備会開催。

主要事業に関連する事業の当初予算	11,444千円	所属課	建設産業課
------------------	----------	-----	-------

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	2	活力ある むらづくり
基本事業	1	持続可能な農業と商工観光の振興

主要事業

◆ 商工振興事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標) ○商工団体と連携し、中小事業所の経営安定、福利厚生の上昇及び地域経済の活性化等を図る。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標) ○中小事業所の経営安定と福利厚生の上昇			
3. 本年度事業の内容 ○米子市勤労者福祉サービスセンター会費負担 21千円 ○米子日吉津商工会運営補助 1,000千円 ○中小企業小口融資預託 4,037千円 他			
4. 前年度の成果・活動実績・課題 ○金融支援や商工団体への補助等の実施により、中小事業所の経営安定等が図られた。			
主要事業に関連する事業の当初予算	5,118千円	所属課	総合政策課

主要事業

◆ 地域魅力発信事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標) ○本村のもつ魅力や特色、文化などについて再確認、発見、収集、磨き上げを行い、地域への愛着とブランド力の向上を図り、村内及び村外への発信をより効果的に行うことを目指す。			
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標) ○日吉津村の持つ地域のイメージをブランディングし、地域ブランド力の向上を図るとともに、地元企業と連携しながら、村内外に本村の魅力発信を行い、本村の価値の向上を図る。			
3. 本年度事業の内容 ○総合パンフレット作成 ○ホームページの運営 ○各種SNSの更新			
4. 前年度の成果・活動実績・課題 ○ホームページの職員向け、操作研修の開催 ○ホームページの改修 ○ショッピングモールへのパンフレット配架			
主要事業に関連する事業の当初予算	998千円	所属課	総合政策課

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	2	活力ある むらづくり
基本事業	2	移住定住の促進

主要事業

◆ 都市計画総務事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○将来に向けて、乱開発の防止と秩序ある土地の有効利用を図り、快適で暮らしやすい地域を維持・発展することを目指す。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○国道431号の効率的な沿道利用を図るため、地区計画の導入による環境整備を図る。

3. 本年度事業の内容  
○国道431号沿道の富吉地区の商業系地区計画の導入を目指す。  
○都市計画図の作成  
都市計画図作成負担金(3D都市モデル等含む)  
※米子市が一括発注し、村は米子市へ負担金を支払う。

4. 前年度の成果・活動実績・課題  
○国道431号沿道(富吉地区)商業系地区計画の事前協議

主要事業に関連する事業の当初予算	5,349千円	所属課	総合政策課
------------------	---------	-----	-------

主要事業

◆ 移住定住支援事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○仕事、住まい、結婚を総合的にサポートし、IJUターン及び移住定住の促進に取り組む

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○仕事、住まい、結婚を総合的にサポートする「移住定住総合相談窓口」を開設し各関係機関や団体等と連携して支援を行う。  
○本村へ移住し、住宅を取得した世帯への継続した経済的支援を行う。

3. 本年度事業の内容  
①結婚・子育て世帯等定住促進補助金 500千円×10世帯  
本村に移住して5年以上経過し、専用户建て住宅及び兼用住宅(新築・中古)を取得して3年以上経過した世帯に支援金を給付する。  
補助額:1世帯上限50万円(夫婦:20万円、子ども1人:10万円加算)  
※結婚・子育て世帯等応援補助金の交付を受けた世帯が対象  
②鳥取県移住支援金支給事業に係る移住支援金 1,000千円×1世帯  
東京23区に在住または通勤していた者が、本村に移住し起業又は県が指定する企業に就職した場合、支援金を給付する。  
補助額:1世帯100万円

4. 前年度の成果・活動実績・課題  
①令和4年度:該当世帯なし  
②令和4年度:申請なし

主要事業に関連する事業の当初予算	6,072千円	所属課	総合政策課
------------------	---------	-----	-------

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	3	ともに築く むらづくり
基本事業	1	協働のむらづくりの推進

主要事業

◆ 自治基本条例推進事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○自治基本条例を推進することで住民主権、人権の尊重、情報の共有、参画と協働など、村民主体の村づくりが進み、また村民と行政とがより良いパートナーとなって活動していくことを目的とする。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○「村民が主役の村づくり」の実現を目指し、日吉津村自治基本条例を推進する。  
年間を通じて「自治基本条例」の周知を行う仕組みの検討を行う。
3. 本年度事業の内容  
○自治基本条例推進委員会の開催  
○小学生への条例説明会
4. 前年度の成果・活動実績・課題  
○自治基本条例推進委員会の開催(3回)  
○自治基本条例説明会(7月 小学生)  
○自治基本条例周知  
(広報誌掲載、ふれあいフェスタの展示パネルにて説明会、DVD上映)

主要事業に関連する事業の当初予算	90千円	所属課	総合政策課
------------------	------	-----	-------

主要事業

◆ コミュニティ活動支援事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
○自治基本条例に基づき、コミュニティの一層の推進を図る。  
○自治会活動を円滑に遂行する。
2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
○コミュニティ助成金の積極的な活用周知
3. 本年度事業の内容  
○自治会等のコミュニティ活動の活性化を支援する。  
○コミュニティ活動支援事業<継続事業>  
(同一事業を新規事業の年を含め、3年間助成)  
継続事業 50,000円×4箇所  
コミュニティ活動支援事業<新規事業>  
新規事業 50,000円×6箇所  
<自治会への補助金の支払い>  
・自治会活動補助金(3,120,000円)  
(均等割15%、人口割85%で各自治会へ支払い)  
・自治連合会補助金(1,560,000円)  
(事務取扱交付金1,440,000円、共同事業交付金120,000円)  
・自治会活動支援補助金 公民館の修繕(事業費の1/2補助、上限300,000円)
4. 前年度の成果・活動実績・課題  
<コミュニティ活動支援事業助成金>  
・継続事業:1件(助成額 50,000円)  
・新規事業:3件(助成額 145,584円)

主要事業に関連する事業の当初予算	5,860千円	所属課	総合政策課
------------------	---------	-----	-------

第7次総合計画 令和5年度実施計画

政策	3	健康でともに支え合う 活力あるむらづくり
施策	3	ともに築く むらづくり
基本事業	1	協働のむらづくりの推進

主要事業

◆ ボランティア活動推進事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
 ○村民一人ひとりの主体的なボランティア活動やNPO活動の活性化を図る。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
 ○ボランティア活動を推進するため、社協と連携し、情報交換や研修会の開催、情報提供の実施。  
 ○ボランティア活動やNPO活動の相談・支援体制の確立を図る。

3. 本年度事業の内容  
 ○社協と連携した研修会等を行い、ボランティア活動を推進。  
 ○村ホームページへ、助成情報や募集情報等を随時掲載し、ボランティアへの参加を促す。  
 ○各種活動をCATVや防災無線で広く周知。

4. 前年度の成果・活動実績・課題  
 ○社協と連携し、ボランティア講演会を開催。  
 ○ボランティアの高齢化による活動の停滞、新規ボランティアの加入促進。

主要事業に関連する事業の当初予算	—	所属課	総合政策課
------------------	---	-----	-------

主要事業

◆ 広報公聴事業

1. 事業の目的(事業期間の最終目標)  
 ○「広報ひえづ」の発行によって、村民向けに、行政サービスの周知など村民のニーズに即した情報発信を目指す。  
 ○村ホームページや各種SNSを活用し、月間の広報スケジュールを策定し村の魅力を発信する。

2. 事業の成果目標(その年度の1年間の目標)  
 ○毎月月初に「広報ひえづ」を発行し、行政サービスの周知など情報発信を行う。  
 毎月 1,400部発行

3. 本年度事業の内容  
 ○広報ひえづを毎月月初に発行を行う。  
 ・基本24頁  
 ・4色:2頁 表紙、裏表紙  
 ・2色:22頁 本文

4. 前年度の成果・活動実績・課題  
 ○広報紙のテンプレートを作成し、編集業務の改善を図った。  
 ○「村長への手紙」(広報誌面)による村民意見募集を行った。

主要事業に関連する事業の当初予算	3,494千円	所属課	総合政策課
------------------	---------	-----	-------